

基本目標②：福祉・生活

施策 1：健康づくりの推進と医療体制の整備

施策目標

誰もが自身の心と体の健康に関心を持って健康増進に取り組み、充実した地域医療体制の提供のもと、安心して生活しています。

現状・課題

高齢化が進行する中、誰もが生涯を通じて健康づくりを進め、心と体の健康を保ち、健康寿命を延ばすことは重要な課題となっています。また、食生活やライフスタイルの変化に伴い、生活習慣に起因する生活習慣病が健康上の大きな脅威となっているほか、うつ病などのこころの病気にかかる人の増加、自殺者が毎年発生している状況なども、大きな問題となっています。心身両面の健康づくりにあたっては、「自分の健康は自分でつくる」ための個人への働きかけとともに、その環境づくりを社会全体で推進するという考え方のもと、取組を進めていくことが重要です。

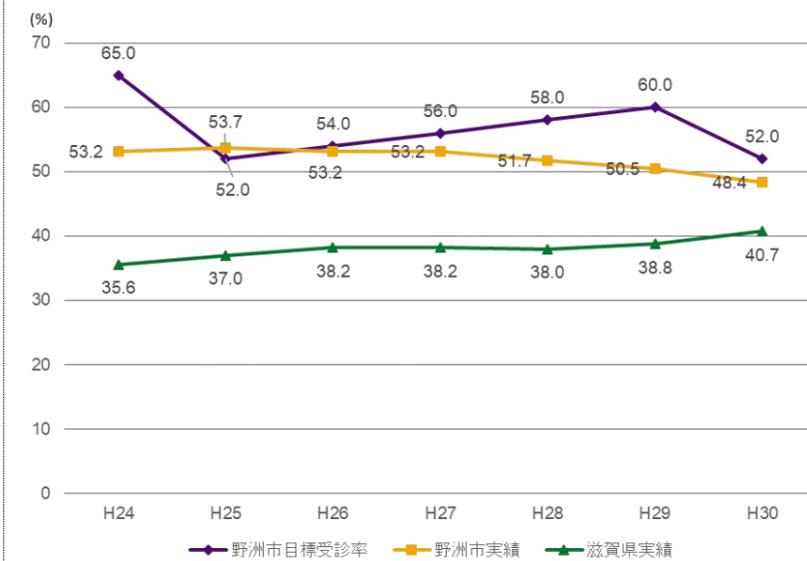
健康づくりに向けた意識啓発や、健（検）診の受診を勧めるとともに、医療機関と連携した保健指導や市の健康課題に対応する取組を効果的に推進するための体制づくりを進めていく必要があります。

自殺の予防については、自殺対策を支える人材育成や、リスクが高い状況にある方への支援を強化し、「生きることへの包括的な支援」を行うことが必要です。

食育については、野洲市の特性を生かし、家庭・地域・学校等が役割を分担・連携しながら、総合的かつ計画的に食育を推進します。

地域医療体制の整備に向けては、市立病院を中心に、診療所や大学病院等、周辺の医療機関との適切な役割分担と連携のもと、切れ目ない医療の提供と市民の健康増進を図り、暮らしの安心につなげていくことが重要です。

■野洲市および滋賀県における特定健診受診率の比較



(資料) 野洲市決算実績報告書より

取組方針

- ① 市民の健康づくりへの支援
市民が自ら健康づくりに取り組むための支援や体制の充実を図ります。また、医療、福祉、保健等の関係機関との連携により、相談支援体制の充実を図ります。
- ② 地域医療体制の整備
市立病院、診療所、保健機関などの関係機関の役割を明確化し、健康づくりを推進する連携体制と、市民が住み慣れた地域で適切な医療サービスを受けることができる環境を整備します。

主な取組

健康づくりに関する意識啓発・教育の実施、食育に関する意識啓発・教育の実施、健（検）診の受診勧奨、健康を考える会等地域の健康づくりの取組支援、自殺対策の推進、等

市立病院の整備・運営、関係機関との役割分担と連携による地域医療体制の構築、等

指標

指標	現状値	目標値 (5年後)
① 特定健診受診率	49.6%	60%
② 特定保健指導の実施率	39.7%	60%
③ 喫煙率	男性 26.4% 女性 3.6%	男性 25% 女性 3.5%
④ 自殺死亡率 (人口 10 万対)	15.7%	13.3%以下

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)
①②は、第 2 期野洲市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) ・第 3 期野洲市特定健康診査等実施計画より
④過去 5 年間の自殺死亡率 (人口 10 万対) を 15%以上減少させることを目指す。

関連する市の計画

- ほほえみやす 21 健康プラン
- 第 2 期野洲市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) ・第 3 期野洲市特定健康診査等実施計画
- 食育推進計画
- いのち支える野洲市自殺対策計画